



抄紙の法に於て其加へたる紙の厚さ
 の隔りあるは流す如く手留す要無
 角の邊より手打して中津に流す
 ありては玉林の流紙を

中江藤樹先生の本家製作は
 此の寫真漸く出来仕るや其流紙
 の間之より其技の是れ不肖
 の拙作も入るなり何卒の笑覧

御高評之賜は誠に誠存難
 比有る事なり
 時々の所も作の方切に事所共
 市島通先生先生
 曉海

石本曉海

